



地域学校協働活動と  
キャリア教育の広報紙

てなむ

学校向け

- ◆ しばやしスクールサポートボランティアセンター 【小林市社会教育課】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター 【小林商工会議所】 Tel.23-4121

新しいことができるようになった時。手伝ってくれた時。努力を感じた時。

子どもたちをほめるタイミングです。これまでの様々な活動の中で、ほめられて笑顔になる子どもたちをたくさん見てきました。

親や先生にほめられて育った子は、そうでない子に比べて自己肯定感が高いと言われます。

子どもの頃の体験が育む力とその成果に関する調査研究(国立青少年教育振興機構)によると

- [A] ほめられたことが多い、叱られたことも多い
- [B] " " が多い、 " " が少ない
- [C] " " が少ない、 " " が多い
- [D] " " が少ない、 " " も少ない

自己肯定感が強い大人はAとBで多く、CとDで少ないという結果が出ています。叱られた経験の多少はあっても、ほめられた経験が多いと自己肯定感は高くなるというのは興味深いですね。

また、「手伝いの頻度や生活習慣の身に付き具合」と「自己肯定感」の間に正の相関があることもわかっています。上手なほめ方は…

「こうするともっと良くなるよ」とか、「ここが特に良かったよ」と、さらなる向上を期待したり具体的にほめたりすることだそうです。

南小 体育の出前授業

5・6年生



後転のポイントは手のつき方です。

写真は5年生の授業

小林中の振替休日の日、新体操部の3年生1人と2年生4人、顧問の長崎先生が南小を訪問。5・6年生にマット運動を指導しました。

この授業は南校区まちづくり協議会、吉村さんの協力で実現したものです。小学生は5つのグループに分

かれ、中学生に支えてもらいながら、前転・後転・開脚前転に挑戦しました。繰り返し練習して、上手にできるようになると全員が笑顔に…。中学生も教えることを通して多くのことを学びました。部員による後方宙返りなどの模範演技もあり、思い出に残る授業になりました。

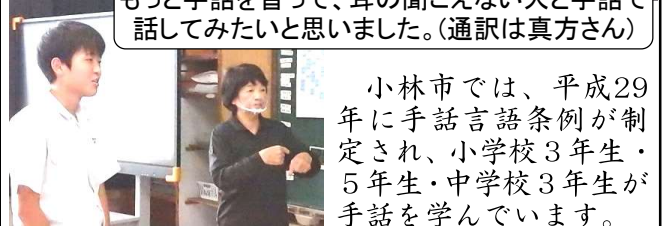
西小林中 手話の学習

3年生



徳永さん

もっと手話を習って、耳の聞こえない人と手話で話してみたいと思いました。(通訳は真方さん)



小林市では、平成29年に手話言語条例が制定され、小学校3年生・5年生・中学校3年生が手話を学んでいます。

この日の講師は徳永さんと真方さん(小林市手話通訳者派遣協会)。聞こえない人の生活や伝える方法についてのお話と補聴器の体験の後、あいさつなどの簡単な手話と指文字を練習して、一人ずつ手話で自己紹介をしました。

子どもたちの手話の学習が、手話言語条例の理念である「手話が言語であることを認識し、手話への理解の促進及び手話の普及を図り、手話でコミュニケーションを図りやすい環境を構築するものとする」という一文に繋がることを願っています。

細野小 あいさつ運動

6年生



月に1度、細野中生と一緒に going to school. この日は中学校の行事の関係で、6年生だけで実施。「あいさつ運動」と書かれたのぼり旗を持って、登校してくる児童と、通る車一台一台に

頭を下げ、大きな声で挨拶をしていました。「あいさつ運動」は多くの学校で行われており、保護者が参加している学校もあります。

訪問する学校で、子どもたちから気持ちの良い挨拶が返ってきます。中には、立ち止まって「語先後礼」の挨拶をする子もいて感心します。

ビジネスマナーでは「語先後礼」が基本。丁寧な挨拶から生まれる人間関係もたくさんありますね。

裏に続きます。

## 東方小 読み聞かせ



思わず身を乗り出す4年生



大谷選手の手形に合わせる6年生

「よんみろ会」の皆さんが、月に1度、年齢に応じた絵本を選び、全学年で読んでくださいます。子どもたちはこの日をとても楽しみにしており、目を輝かせて聞き入っている姿が、どの学級でも見られました。

読み聞かせには、子どもの心が安定する、想像力が育まれる、言語能力が高まる、感情が豊かになる、集中力が上がるなどの効果があると言われています。

小林市ではすべての小中学校でボランティアによる読み聞かせが行われており、子どもたちの健やかな成長に寄与しています。

## さつまいもの苗植え

紙屋小 1・2年生



マルチ張り



1年生6名、2年生7名が校内の「わくわく農園」に紅はるかと黄金千貫の苗を植えました。協力はJA青年部・甘藷農家・保護者の皆さん。

紙屋小の苗植えでは、毎年、2年生が始めの会と終わりの会の進行をします。

【始めの会】お話をきちんと聞いてしっかり植えましょう。

【終わりの会での感想】教えてもらって上手にできました。どのくらい大きくなるか楽しみです。

## 東方中 2年生



説明は本田先生(技術科)



いも植えの大切さを知り、父たちの手伝いをしたいと思いました。

東方研修館の向かいにある畑を地域の方に提供していただき、今年度初めてさつまいも(紅はるか)の苗を植えました。地主さんと区長さんも加わり、和やかな雰囲気の中、竹で穴をあけたマルチに手際よく苗を挿していき、30分ほどで終わりました。秋の収穫が楽しみです。

## 西小林小 畦づくり

5年生



よろしくお願いします

5年生31名が田植えを前に「畦づくり」を体験。水漏れを防ぐ田んぼの仕組や米作りの仕事を知るのが目的です。JA青年部とPTA環境整備部の皆さんに教えてもらいながら、スコップを使い、時には足で踏み固めて、1時間ほどで形を整えました。ちなみに、現在ではトラクターの後部に付けた機械を使います。(写真右下)

【始めの会でのあいさつ】田おこしや草刈りをしていただいたと、先生から聞きました。畦づくりは初めてなので、教えていただきながら頑張ります。

【お礼の言葉】米作りには細かな作業がたくさんあることが分かりました。来月の田植えもよろしくお願いします。

